

整理番号 10911

皮膚腐食性／刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
生殖毒性・授乳影響	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分あり
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 3 気道刺激性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 3 麻酔作用
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 1 消化管
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分あり
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 1 呼吸器
誤えん有害性 分類できない	

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期（急性）	区分 2
水生環境有害性 長期（慢性）	区分 3
オゾン層への有害性	分類できない

●GHS ラベル要素

絵表示（ピクトグラム）



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H315	皮膚刺激
H318	重篤な眼の損傷
H322	吸入すると有害
H335	呼吸器への刺激のおそれ
H336	眠気又はめまいのおそれ
H370	消化管の障害
H372	長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器の障害
H401	水生生物に毒性
H412	長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

P260 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。”

応急措置

P305 + P351 + P338

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
 その後も洗浄を続けること。

P308 + P311

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

P310 直ちに医師／… に連絡すること。

P321 特別な処置が必要である（このラベルの… を見よ）。”

P332 + P313

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。

保管

廃棄

整理番号 10911

環境影響：多量に河川等に排出されると悪影響有り

3. 組成及び成分情報

物質の特定 単一製品・混合物の区別：混合物

化学名	一般名	化学式	%	CAS No.
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム	界面活性剤		15～19%	
α-スルホ脂肪酸メチルエステル塩		$C_{17}H_{33}NaO_5S$		4016-24-4
ポリオキシエチエンアルキルエーテル		RCOONa (R:アルキル基)		4016-22-2
脂肪酸ナトリウム、その他				9002-92-0
炭酸ナトリウム	ソーダ灰	Na_2CO_3	81～85%	497-19-8
硫酸ナトリウム	芒硝	Na_2SO_4		7757-82-6
アルミノ珪酸ソーダ	セオライト	$Na_{20} \cdot Al_{20} \cdot Si_{20} \cdot nH_2O$		1344-00-9
有機ベントナイト	柔軟成分			
カルボメチセルロース	再汚染防止剤			9000-11-7
調合香料	調合香料			
蛍光増白剤	蛍光増白剤			
酵素(蛋白分解酵素)	酵素			

国連分類及び番号：該当しない。

PRTR法 第1種 政令番号 45 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩
(アルキル基の炭素数が10から14の混合物に限る。)

第1種 政令番号 460 ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル
(アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。)

4. 応急処置

目に入った場合：こすらずにすぐに清浄な水で最低15分洗眼後、少しでも異常が残る場合眼科医の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合：流水で良く洗い流して下さい。また製品が付着した衣類などは脱ぎ去り、洗浄、洗濯する。
もし、皮膚に炎症を生じた時は医師の診断を受ける

吸入した場合：鼻をかみ、うがいをして新鮮な空気のところで安静にする。
必要に応じて医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：清浄な水で口内を十分に洗い、水を飲ませて吐かせ、必要に応じて医師の診断を受ける

5. 火災時の措置

難燃性であるが100℃を超える高温化では有機物が分解可燃性を生じる危険性があります。
また火元において飛散した場合引火の可能性がある。

消火方法：類焼の恐れがある場合は、火元より遠ざけ、安全な場所へ移動する。
もし類焼する場合は、飛散に注意し化学消火器で消火する。
消火作業は、必ず保護具を着用し、飛散に注意し風上から行う。

消火剤：水、泡沫、炭酸ガス等

6. 漏出時の措置

漏出した場所周辺にはロープを張るなどして、人の立ち入りを禁止する。

漏出したものは掃き集めるか掻き取り水気を避けて別容器に回収し、残りは多量の水で洗い流す。その際漏出したものが高濃度で河川等に排出され、環境への悪影響を起こさないように注意する。

整理番号 10911

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い：皮膚、粘膜または着衣に触れたり、目に入らないように注意する。容器を転倒させたり、落下したり、衝撃を加えたり又は引きずる等の乱暴な取り扱いをしない。
(内容物漏出防止)
- 保管：水漏れのない室内に保管する。
開封後は密閉容器に移すか、きちんと蓋を閉じるなど吸湿を防ぎ、出来るだけ冷暗所に保管のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度：設定されていない。
- 設備対策：取り扱い場所の近くに手洗い、洗眼、シャワー等の設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
- 保護具 保護眼鏡：側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡
保護手袋：ゴム手袋
保護衣：作業衣（長袖）、安全靴又はゴム製長靴を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観等：粒子を含む白色粉末物（青色の粒子を含む）
- 揮発性：有り（香料） pH（標準使用濃度）：弱アルカリ性 8を超え～11未満
- 嵩比重：約0.7～0.95 溶解性：水に可溶（不溶物含む）

10. 安定性及び反応性

- | | | | |
|--------------------|---------|-----------|---------|
| 引火点 | : データー無 | 酸化性 | : 無 |
| 発火点 | : データー無 | 自己反応性・爆発性 | : 無 |
| 爆発限界 | : データー無 | 粉塵爆発性 | : データー無 |
| 可燃性 | : 難燃 | 安定性 | : 安定 |
| 発火点(自然発火・水との反応): 無 | | 反応性 | : 腐食性有り |

11. 有害性情報（人に対しての症例、免疫学的情報を含む）

●家庭用品としての危険性

- | | | | |
|-----------|----------|-----------------|----------|
| 皮膚腐食性 | : データーなし | がん原性 | : データーなし |
| 刺激性(皮膚・目) | : 刺激性有り | 変異原性(微生物、染色体異常) | : データーなし |
| 感作性 | : データーなし | 生殖毒性 | : データーなし |
| 急性毒性 | : データーなし | 催奇形性 | : データーなし |
| 亜急性毒性 | : データーなし | その他 | : |

●化学物質（混合物）としての GHS 分類

- | | |
|------------------|--------------------------------|
| 急性毒性（経口） | NITE-Gmiccs による分類を実施
分類できない |
| 急性毒性（経皮） | 分類できない |
| 急性毒性（吸入：気体） | 区分に該当しない（分類対象外） |
| 急性毒性（吸入：蒸気） | 分類できない |
| 急性毒性(吸入) | 分類できない |
| 急性毒性（吸入：粉じん、ミスト） | 区分4 H332 吸入すると有害" |
| 皮膚腐食性／刺激性 | 区分2 H315 皮膚刺激 |
| 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | 区分1 H318 重篤な眼の損傷 |
| 呼吸器感作性 | データ不足のため分類できない |
| 皮膚感作性 | 分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | 分類できない |
| 発がん性 | 分類できない |
| 生殖毒性・授乳影響 | データ不足のため分類できない |

